

第 11 章 アクションプラン

11.1 アクションプランの構成

マスタープランを構成する 8 分野 19 プログラムは、いずれも 2020 年を開発目標年として策定されている。各プログラムについて、短期的に達成すべき課題と目標値を設定し、アクションプランを策定した。

第 10 章で述べたとおり、19 プログラムは、地方省別に取り組むべき 10 プログラムと地域横断的に実施する 9 プログラムに大きく区分される。アクションプランの作成では、各地方省の開発ニーズと地域特性を可能な限り反映した。提案するアクションプランは下表のとおりである。

表 11.1.1 地方省別・地域アクションプランの件数

	ライチャウ省	ディエンビエン省	ソンラ省	ホアビン省	合計
地方省別アクションプラン	11	11	9	9	40
地域アクションプラン	10				10
地方省別合計	21	21	19	19	50

次頁の表 11.1.2 にアクションプラン一覧表を示す。

11.2 アクションプランの策定条件

アクションプランは下記の項目から構成される。

- ① 実施期間
- ② 対象地域・ターゲットグループ（対象地域図）
- ③ 実施機関・協力機関（組織図）
- ④ 背景・目的
- ⑤ プロジェクトの要約（上位目標、プロジェクト目標、成果）
- ⑥ 活動・アウトプット
- ⑦ 投入
- ⑧ 実施にかかる留意点

なお、アクションプランの実施期間は、次期 5 ヵ年計画(2011 年～2015 年)とし、5 ヵ年計画の最終年である 2015 年までに達成されるべき目標を設定し、アクションプランの開発フレームとした。パイロット事業あるいは実証事業を先行させ、技術確立と人材育成後に、本格実施に移行するプログラムでは、アクションプランを 2 期分けて実施することを計画した。

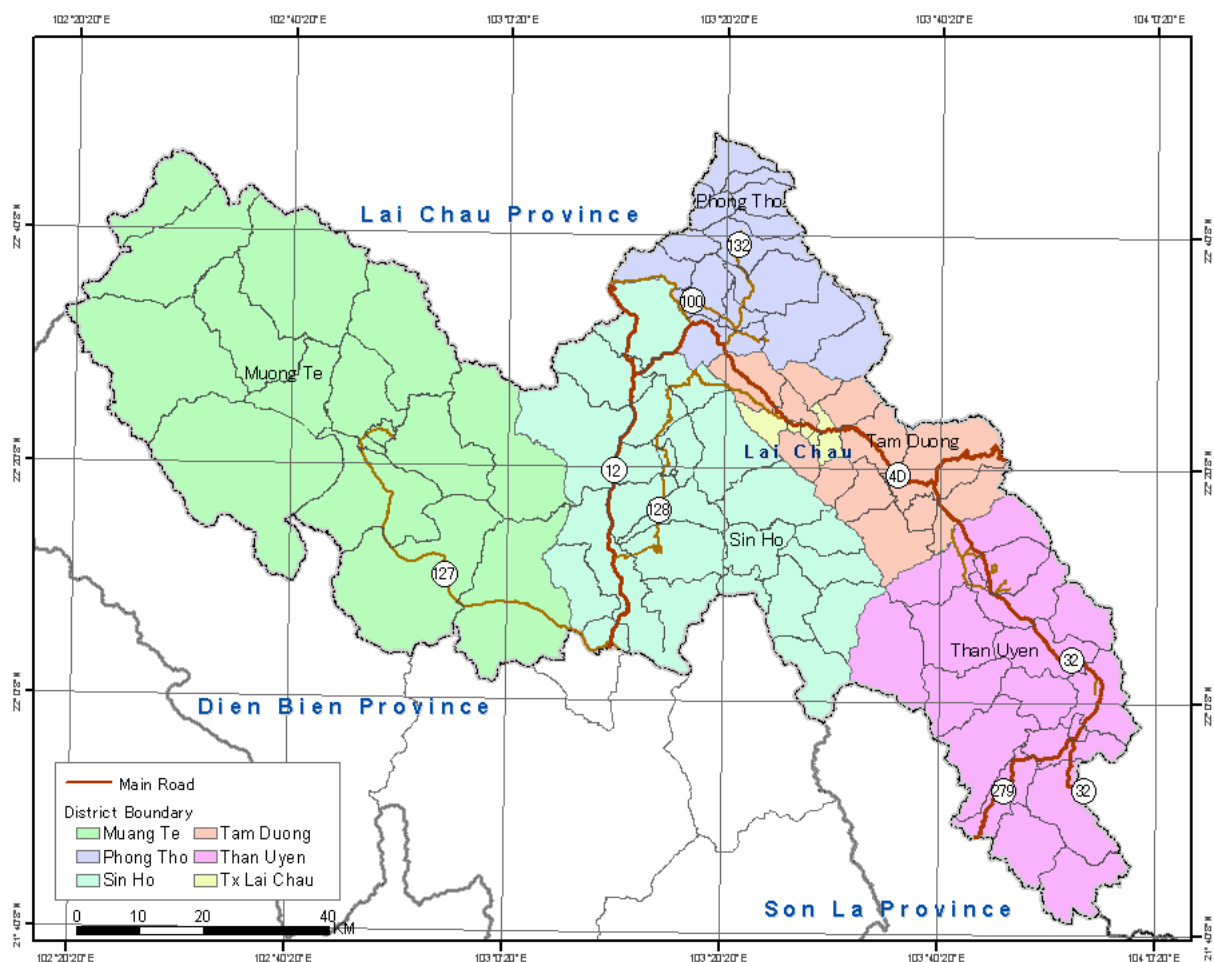
表 11.1.2 アクションプラン一覧表

計画	プログラム	アクションプラン			
		ライチャウ	ディエンビエン	ソンラ	ホアビン
地方省別アクションプラン					
1. 市場志向型農業振興計画	1.1 伝統的工芸作物生産性改善プログラム	茶の品質・収量改善	茶の品質改善・増産 コーヒーの品質改善	茶の品質改善・増産 コーヒーの品質改善	茶の品質・収量改善
	1.2 アグリビジネス振興プログラム	天然ゴム生産流通支援	高品質精米生産流通支援	高品質乳製品生産流通支援	農機具等生産支援
		キノコ生産流通支援			
	1.3 安全農作物生産支援プログラム	クリーン果物生産支援	クリーン野菜推進センター(CVC)設立	クリーン野菜推進センター(CVC)設立	クリーン野菜推進センター(CVC)設立
1.4 北西部国境貿易支援プログラム	国境地域インフラ整備	国境地域インフラ整備	国境地域インフラ整備		
2. 北西部食料安全保障改善計画	2.1 遠隔地における食用作物生産支援プログラム	米を主体とする食糧増産	米を主体とする食糧増産	メイズを主体とする食糧増産	米を主体とする食糧増産
	2.2 家畜衛生・生産性向上プログラム	北西部における家畜衛生技術普及			
	2.3 内水面漁業支援プログラム	水田養殖パイロット事業	ポンド養殖パイロット事業		乳用種水牛普及 ホアビンダム水産資源管理
3. 地域活性化・収入源多様化計画	3.1 非木材林産物(NTFP)振興プログラム	総合的な NTFP 管理の導入支援	菓草類導入支援	総合的な NTFP 管理の導入支援	多目的樹種の活用ならびに菓草類の導入支援
	3.2 手工芸・農村副業支援プログラム	CLC 活用による手工芸・食品加工振興	手工芸・食品加工を行う協同組合の育成	特産品振興	道の駅を利用した販売促進キャンペーン
	3.3 観光村・グリーンツーリズム導入プログラム	グリーンツーリズム導入パイロット事業	観光村開発パイロット事業	観光村開発パイロット事業	観光村開発パイロット事業
地域アクションプラン					
4. 環境保全・バイオマス利用計画	4.1 持続的な Da 川水力発電開発のための流域保全プログラム	ゴムノキなどの有用樹種の植林ならびにアグロフォレストリーの普及			
	4.2 希少動植物保護のための天然林保全プログラム	特別利用林の管理活動活性化支援ならびに自然保護区設置支援			
	4.3 バイオマス・エネルギー生産導入プログラム	バイオマス・エネルギー原料の生産導入支援			
5. 灌漑給水開発計画	5.1 水利組合設立育成プログラム	水利組合設立育成パイロット事業			
	5.2 溪流取水による多目的水利用(灌漑・給水)プログラム	溪流取水による多目的水利用パイロット事業			
6. 農村道路開発計画	6.1 農村道路維持管理プログラム	農村道路維持管理パイロット事業			
7. 農村電化開発計画	7.1 再生可能エネルギー利用による電化プログラム	再生可能エネルギー利用による農村電化パイロット事業			
8. 行政能力向上計画	8.1 地方省職員農村開発行政能力向上プログラム	農業・農村開発 5 ヶ年計画策定のための能力開発			
	8.2 北西部農村基礎情報整備プログラム	地理情報システムを活用した北西部開発事業モニタリング手法の確立と人材育成			

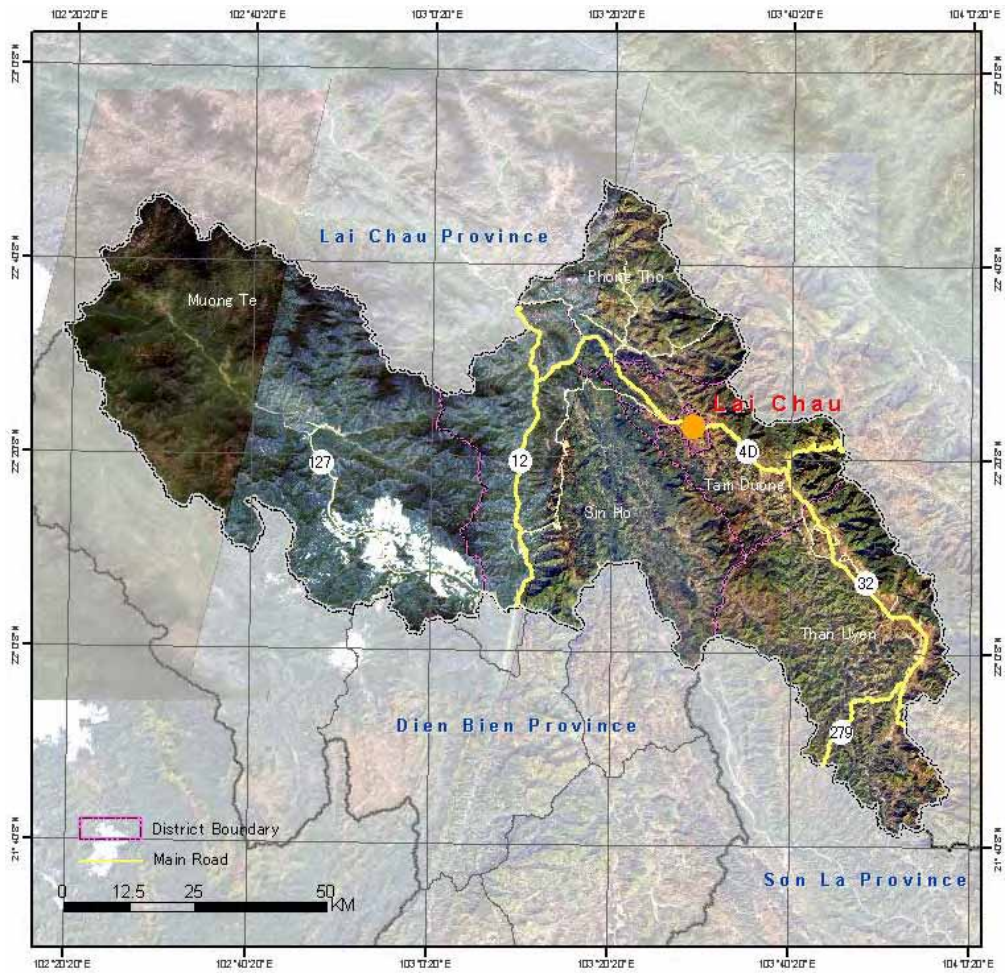
11.3 ライチャウ省アクションプラン

ライチャウ省

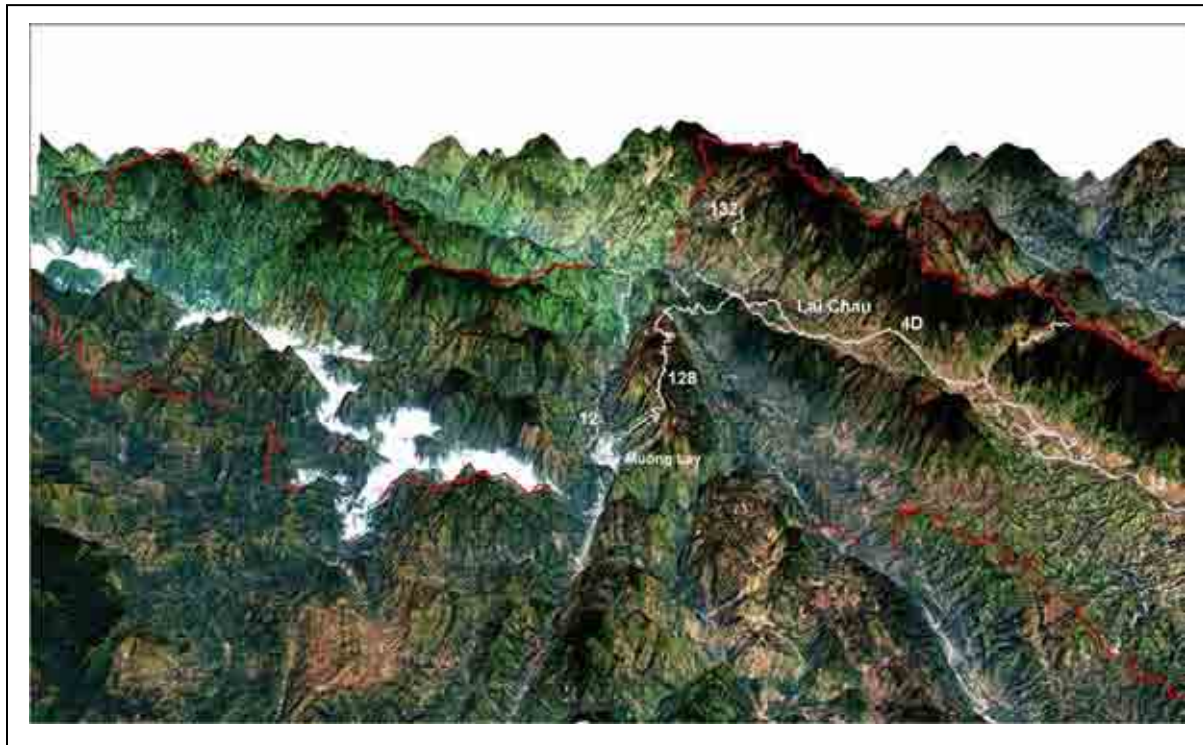
地方省別マスタープラン・プログラム
アクションプラン(2010-2015)



Administration Boundaries and Major Road Networks



Satellite Image of Lai Chau Province



3D Landscape of Lai Chau Province

ライチャウ省のアクションプラン

1. ライチャウ省の現状

ライチャウ省は北西部の最北に位置し、面積は9,112km²、地域人口は33.1万人である。人口密度は36人/km²で、北西部(平均71人/km²)のなかで最も人口希薄な省である。民族構成は、タイ族(35%)、モン族(21%)、キン族(13%)、ザオ族(12%)、ハニ族(5%)の順となっている。就業人口の86%が農業に従事している。2005年の一人当たりGDPはUS\$212であった。

ハノイからライチャウ省へは、ホアビン省、ソンラ省を経由して全長550kmの道程(6号線、279号線、32号線)である。空路により、Dien Bien Phu 経由にてライチャウ省に至るルート(12号線)もあるが、いずれにしても、山岳道路が円滑な物流を妨げており、地域発展にとって大きな阻害要因となっている。

同省には、山頂が2,000mを超える山々が連なる。平均標高も高く、省の69%が、海拔500m～1,500mの範囲にある。また、傾斜30%以上の土地が67%を占め、北西部では最も険しい地形条件を有している。省のほぼ全域がDa川流域にあるが、森林率は北西部のなかでは最も低い37%で、土壌浸食の危険性が高い草地・ヨシ地が省全体の30%を占めることから、流域保全は喫緊の課題である。

2005年における、地域GDPは総額1兆580億VND(北西部の10%)であった。第1次産業が46%を占めており、北西部の中でもとりわけ農業セクターへの依存度が高い省である。耕地面積は、北西部面積の8%に当たる7.8万haで、畑地5.7万ha(73%)、水田1.4万ha(18%)、果樹0.7万ha(9%)という内訳である。

ライチャウ省の水稲・陸稲を合わせた粗生産量(2005年)は9.3万tonで、これは精米換算で一人当たり192kgに相当し、全国平均(168kg)を上回る。ただし、省内では局所的に米不足が生じており、トウモロコシ、イモ類で補完されている。代表的な換金作物は茶で、栽培面積4,200haは、北西部4省のなかでもっとも大きい。ライチャウ産の茶は、一部ブランド化に成功している。

2. アクションプランの提案

遠隔地の食料増産と食生活の改善

ライチャウ省は、域内外の交通網が十分に整備されていないことから、食料安全保障は特に重要な課題である。谷地田あるいは棚田において、溪流を利用した小規模な灌漑開発を進めると共に、農業普及と稲・トウモロコシなどの種子配布を連動させ、遠隔地における食料増産を図ることをアクションプランとして提案した。

同時に、畜産および水産に対する支援を進め、地元農民の食生活を豊かにする努力も求められている。ライチャウは冷涼な気候下にあり、役畜として水牛が広く普及している。水牛の品種改善と肉牛・乳牛の増頭により、乳・肉の生産量を拡大する必要があるが、家畜衛生サービスの強化と飼料の安定供給は不可欠であることから、両者に焦点を当てたアクションプランを提案した。

水源と土地の確保が困難なライチャウ省では、大規模なポンド養殖は適さず、自家消費を目的

とする水田養殖の普及が望まれる。零細農家および女性グループの副業として定着させていくことを考慮した技術確立と普及をアクションプランに組み入れた。

国境貿易に向けた農産品の導入・普及

ライチャウ省は、中国雲南省との国境線を有している。Phong Tho 郡 Ma Lu Thang において、中国との国境貿易が行われており、2006年の貿易額はUS\$3.7百万に達している。これは地域GDPの9.4%に当たり、地域経済への貢献度は小さくない。圧倒的なベトナムの輸出超過で、主な輸出品は、茶、カルダモン、竹パルプ、鉄鉱石などである。特に、茶の輸出量が増加傾向にあり、2006年には1,900tonの茶葉が中国に輸出されている。現在は閉鎖されているが、Muong Te 郡 U Ma Tu Khoang 経由の交易ルートも合わせて、国境貿易は、同省農業セクターの発展にとって、大きな牽引役となるであろう。なお、健全な国境貿易の振興には、国境地域の民生安定も重要であり、地域住民の生活環境改善に資するインフラ開発を国境地域に集中させていくことも必要である。

また、国境貿易を視野に入れた特産品の多様化も不可欠である。クリーンな土地水資源は、北西部の重要な地域資源であり、ここで栽培される安全な農作物の有する潜在的な市場競争力は高い。アクションプランでは、アグロフォレストリーの普及による果樹生産に優先度を与えた。ただし、果樹は植栽から収穫まで数年を要することから、即効性のある茶の品質改善もアクションプランとして提案した。

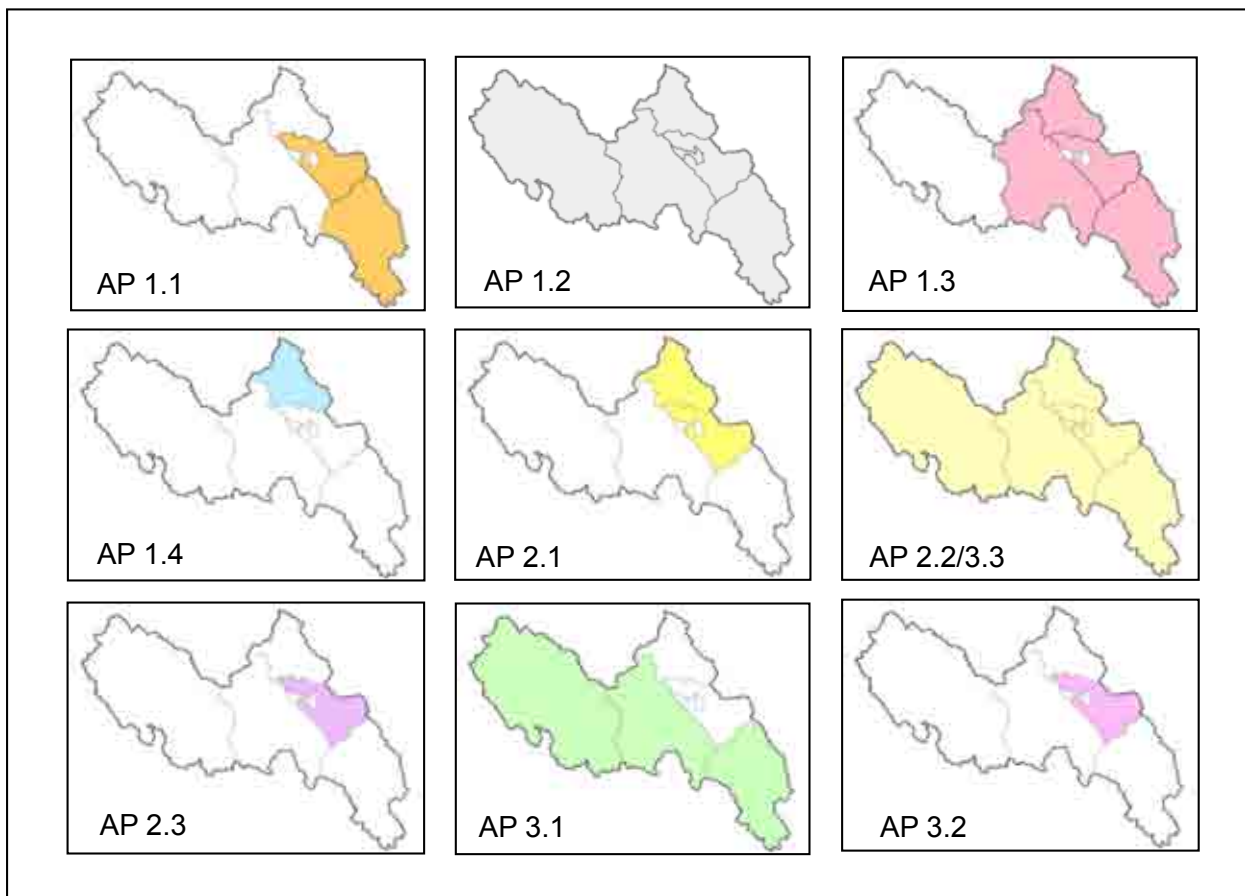
ライチャウ省は、民間資本の進出には不利な点も多いが、2020年を見据えたアグリビジネス誘致を促進することも重要である。アクションプランでは、ライチャウの地域特性に適する地場産業として、天然ゴムとキノコの生産・販売を取り上げた。

森林資源の活用と手工芸産業の育成

ライチャウ省では、土地資源に大きく依存しない生産活動を導入・普及することが求められており、非木材林産物(NTFP)の振興は重要なテーマである。現在、タケ、ラタン、ラック、アブラギリなどが既に普及しており、総合的な管理体制の強化を目指すアクションプランを必要としている。

また、手工芸産業や観光村開発などにより、土地を十分に持たぬ零細農家あるいは女性の収入源を広げていくことが求められている。CLCにおける農民教育の実績を踏まえて、アクションプランでは、協同組合および零細企業を対象とする手工芸・食品加工の教育訓練に資するパイロット事業を提案した。さらに、隣接するラオカイ省の Sa Pa における観光開発の経験・教訓を生かしつつ、ライチャウ省の豊かな自然資源を背景に、少数民族の文化・伝統に触れる観光村・グリーンツーリズムの導入に係るアクションプランも併せて提案した。

開発計画	マスタープラン・プログラム	アクションプラン	頁
ライチャウ省マスタープラン			
1. 市場志向型農業振興計画	1.1 伝統的工芸作物生産性改善プログラム	AP1.1 茶の品質・収量改善	12-8
	1.2 アグリビジネス振興プログラム	AP1.2 天然ゴム生産流通支援	11-10
		AP1.2 キノコ生産流通支援	11-12
	1.3 安全農作物生産支援プログラム	AP1.3 クリーン果物生産支援	11-14
1.4 北西部国境貿易支援プログラム	AP1.4 国境地域インフラ整備	11-16	
2. 北西部食料安全保障改善計画	2.1 遠隔地における食用作物生産支援プログラム	AP2.1 米を主体とする食糧増産	11-18
	2.2 家畜衛生・生産性向上プログラム	AP2.2 北西部における家畜衛生技術普及	11-110
		AP2.2 組合方式の水牛共同牧場の普及	11-20
2.3 内水面漁業支援プログラム	AP2.3 水田養殖パイロット事業	11-22	
3. 地域活性化・収入源多様化計画	3.1 非木材林産物(NTFP)振興プログラム	AP3.1 総合的なNTFP管理の導入支援	11-24
	3.2 手工芸・農村副業支援プログラム	AP3.2 CLC活用による手工芸・食品加工振興	11-26
	3.3 観光村・グリーンツーリズム導入プログラム	AP3.3 グリーンツーリズムパイロット事業	11-28
地域マスタープラン			
4. 環境保全・バイオマス利用計画	4.1 持続的なDa川水力発電開発のための流域保全プログラム	AP4.1 ゴムノキなどの有用樹種の植林ならびにアグロフォレストリーの普及	11-112
	4.2 希少動植物保護のための天然林保全プログラム	AP4.2 特別利用林の管理活動活性化支援ならびに自然保護区設置支援	11-114
	4.3 バイオマス・エネルギー生産導入プログラム	AP4.3 バイオマス・エネルギー原料の生産導入支	11-116
5. 灌漑給水開発計画	5.1 水利組合設立育成プログラム	AP5.1 SPL-VI灌漑地区における水利組合設立育成モデル事業	11-118
	5.2 溪流取水による多目的水利用(灌漑・給水)プログラム	AP5.2 溪流取水による多目的水利用パイロット事業	11-120
6. 農村道路開発計画	6.1 農村道路維持管理プログラム	AP6.1 農村道路維持管理パイロット事業	11-122
7. 農村電化開発計画	7.1 再生可能エネルギー利用による電化プログラム	AP7.1 再生可能エネルギー利用による農村電化パイロット事業	11-124
8. 行政能力向上計画	8.1 地方省職員農村開発行政能力向上プログラム	AP8.1 農業・農村開発5ヵ年計画策定のための能力開発	11-126
	8.2 北西部農村基礎情報整備プログラム	AP8.2 GISを活用した北西部開発事業モニタリング手法の確立と人材育成	11-128



Action Plan Coverage Maps

計画	市場志向型農業振興計画		
プログラム	伝統的工芸作物生産性改善プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省における茶の品質・収量改善		
実施期間	6年（フェーズ1:パイロット事業、フェーズ2:省全域への普及）		
対象地域/裨益者	ライチャウ省全域を対象とするが、特に Tam Duong 郡・Than Uyen 郡を優先地区とする。 茶葉生産農家、関連技術普及員、製茶業者等		
実施機関	DARD	協力機関	農業普及センター、北山岳部農林技術科学研究所（ベトナム茶研究所）

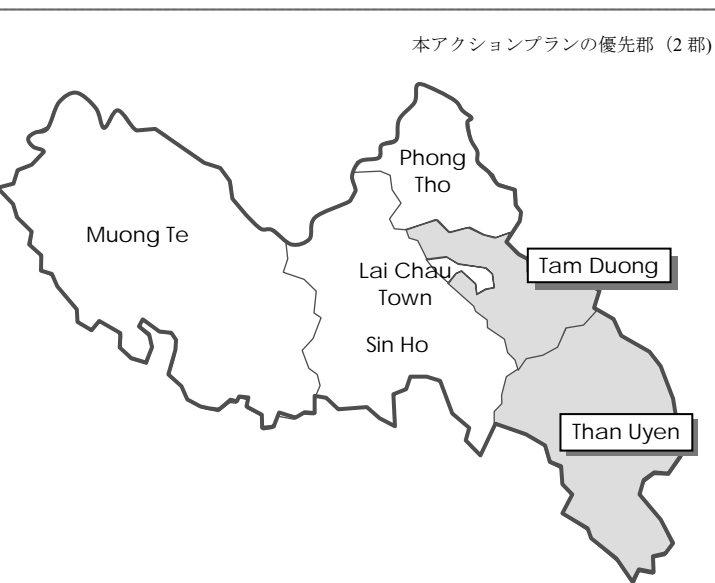
背景・目的

ライチャウ省は標高が高く、シャン種の茶葉生産に最適な立地条件を有している。同省の茶栽培面積は4,000haで、北西部の茶栽培面積の40%近くを占める。過去、国营農場が商品作物として栽培し、茶葉の加工、流通まで一貫した商業生産の実績がある。現在、省内には製茶業者が数社あるが、多くは一次加工後、他地域の大手業者に売却されている。最近、ベトナム国内では「ライチャウ茶」のブランドが浸透しつつあるが、地域の特産品として、広く認知されるためには、さらなる努力を必要としている。

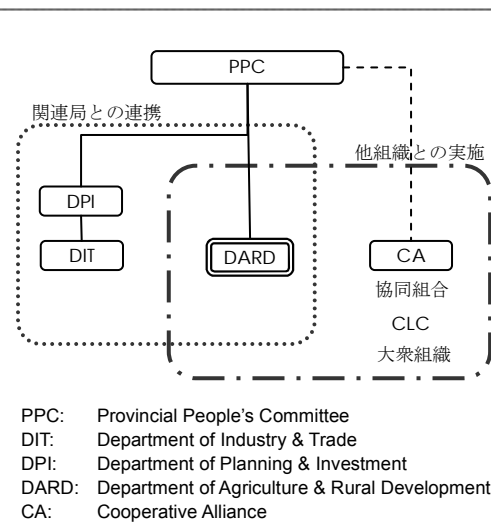
近年、国营の茶ブランテーションは、中核となる茶園と茶葉の収穫後処理（加工）施設を除き、大半の茶園が農家に分割譲渡され、栽培・生産請負の経営形態に移行している。したがって、茶葉生産の現状は、実質的に小農による小規模茶園（0.1-0.2ha）が主体となっている。他方、栽培技術については、在来の耕種法が踏襲されており、茶樹の成熟度の若さと相俟って、平均収量は1.2ton/haと低く、品質改善も進まないのが実情である。今後、茶園の生産性を改善し、茶農家の生計を持続的に安定させるためには、先ず、単位面積当たりの収量を上げる必要がある。

国際市場における茶葉は、飲料・薬料双方において需要が拡大しており、引き続き有望な商品作物として評価できる。また、茶は、山間の急傾斜地まで植栽・管理が可能であるので、茶樹の植栽は、流域保全にも貢献することが期待される。

対象地域図：ライチャウ省



組織図



写真



Lai Chau 市近郊に広がる茶農場



収穫された茶葉は直ちに工場に集荷され、乾燥工程に送られる



Lai Chau ブランドのパッケージに梱包されて、ハノイでも販売されている

プロジェクトの要約								
上位目標		成果						
ライチャウ省の製茶業の付加価値向上と茶生産農家の所得向上 プロジェクト目標 ライチャウ産の茶が同省の特産品としてブランド化され、需要に見合う供給体制が確立される。		1. 茶栽培の適正技術の確立と展示（パイロット事業） 2. 茶葉加工における適正技術の確立・展示（パイロット事業） 3. 省全域における茶の品質改善 4. 省全域における茶葉生産量の拡大						
活動		アウトプット	年次					
			1	2	3	4	5	6
【茶プランテーションの生産性改善スキーム】 1. 現況調査並びにパイロットスキームの実施設計（50ha x 2 地区） 1-1 茶葉生産農家の営農実態（栽培技術と農家経済）調査 1-2 茶の買付けと国内・海外トレードの現状調査 1-3 原料品質基準、品質/価格設定、生産技術と改善課題等 1-4 パイロットスキーム実施地区の選定と実施設計・合意形成 2. 茶葉生産パイロットスキームの実施 2-1 適正品種の導入、優良種苗の供給、耕種法の指導等 2-2 展示圃の設置・運営（適正耕種法の展示と技術講習会等） 2-3 適正農機具（剪定鋏、防除用噴霧器等）の普及 2-4 生産支援改善・強化対策（含、農民組織、制度金融等） 2-5 一次加工施設の改善 2-6 産地形成（品質改善、原料調達並びに加工生産の効率化） 2-7 販路形成・北西ブランド普及のための政府キャンペーン 2-8 事業効果のモニタリング評価 3. 農業改良普及員等の茶葉生産技術にかかる教育・訓練 3-1 省・郡の農事普及担当者への専門技術移転と実務実習 3-2 展示圃の運営の中で実地に普及員、篤農家の教育・訓練 3-3 茶葉加工技術者へ適正加工技術の移転 4. 他郡への普及 4-1 事業地区の選定と実施にかかる合意形成 4-2 適正品種の導入、優良種苗の供給、耕種法の指導等 4-3 展示圃の設置・運営（適正耕種法の展示と技術講習会等） 4-4 適正農機具（剪定鋏、防除用噴霧器等）の普及 4-5 農民組織の強化と制度金融の誘致等 4-6 一次加工施設の改善と商品加工施設の設置 4-7 産地形成と生産物のブランド化		ベースライン調査報告書 茶市場調査報告書 品質基準・価格基準データ パイロット事業計画書 政府向けガイドライン 適正品種の苗木 茶農家向け普及教材 農機具使用説明書 展示圃 キャンペーンポスター 品質調査・収量調査の記録 農作業記録・収穫量データ 研修記録、加工場作業記録 年次報告書						
投入								
専門家 1. 専門家 1-1 工芸作物（茶）専門家 1-2 製茶技術専門家 1-3 加工機械専門家 1-4 流通システム専門家 1-5 農業協同組合専門家 1-6 事業評価・モニタリングの専門家		2. パイロット事業関連資機材 2-1 技術展示圃用資機材 2-2 加工機器ユニット 2-3 車両（積載容量 2ton） 3. 教材、耕種栽培ガイドライン等 4. PC, AV 研修機材						
実施にかかる留意点								
1. 産地形成はトップダウンで進めるのではなく、農民が市場ニーズを理解することが重要となる。その上で、農民組織化を進め、行政サービスを受け入れる意識改革が先行しない限り、期待した効果は得られない。コミュニティ開発手法を用いたアプローチが不可欠である。 2. 茶葉生産の実績はあるものの基礎的な試験・研究成果の蓄積が乏しいので、北山岳部農林技術研究所の技術支援を受けながら、優先地区におけるパイロット事業を先行させる。 3. 現在、国営農場の機能の一つとして茶の種苗配布が行われているが、種苗圃の能力から供給量が不足しており、農家が個々に挿木苗を作り間に合わせているケースが多い。しかし、農家の種苗は不揃いで、必ずしも健苗とは言い難く、推奨品種の育苗・配布が重要な課題である。								

計画	市場志向型農業振興計画		
プログラム	アグリビジネス振興プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省天然ゴム生産流通支援		
実施期間	6年		
対象地域/裨益者	ライチャウ省にて天然ゴムの生産・流通をめざすゴムノキ栽培農家と民間企業・団体		
実施機関	DARD	協力機関	DIT、MARD 農産加工製塩局

背景・目的

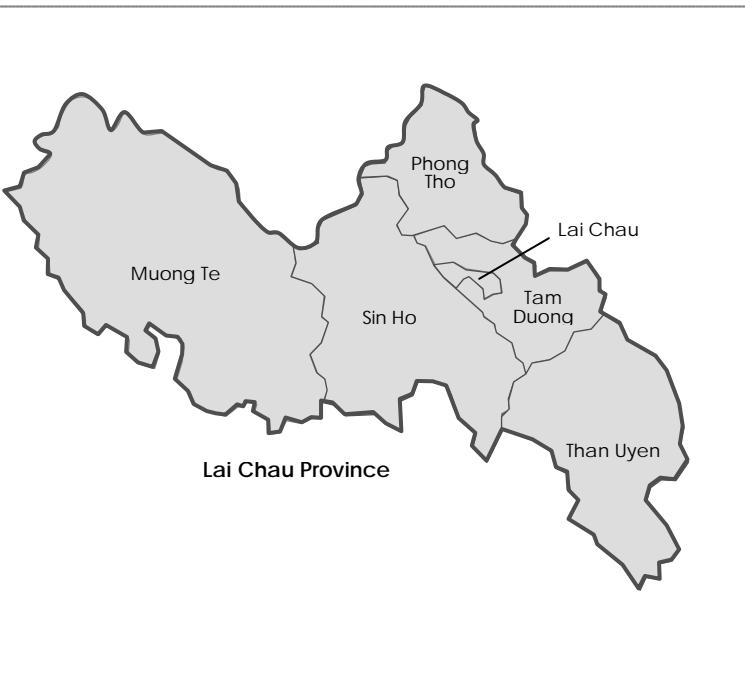
ライチャウ省において本格的に導入されたゴムノキ栽培農家と天然ゴム流通業者に対する行政サービスを実施する。ライチャウ省は険しい山岳地帯が大部分を占めるが、豊かな自然環境を有する地方省である。環境への負荷が小さい農業を推進することは、持続的な農業活動と生活環境の向上に不可欠である。MARD は、土砂災害や土壌流出の原因となる焼畑を抑制するため、キャッサバ栽培面積の拡大を禁止している。また、コーヒーも全国の栽培面積を 50 万 ha に維持し、生産増から品質改善に軸足を移した農業指導を行っている。特に、生産性の低いコーヒー畑はゴムノキに作付け転換することを奨励している。

天然ゴムの需要は、近年、急増しており、ゴム園の経営は北西部において有望なアグリビジネスである。ゴムノキは山地緩斜面でも植林でき、収穫時期が集中せず、労働負荷を生じないことから、山岳部に住む少数民族には受け入れられやすい有用樹種と考えられる。採取した原料樹液は一次産品として特殊な加工を施すことなく、民間業者に売り渡すことができる。

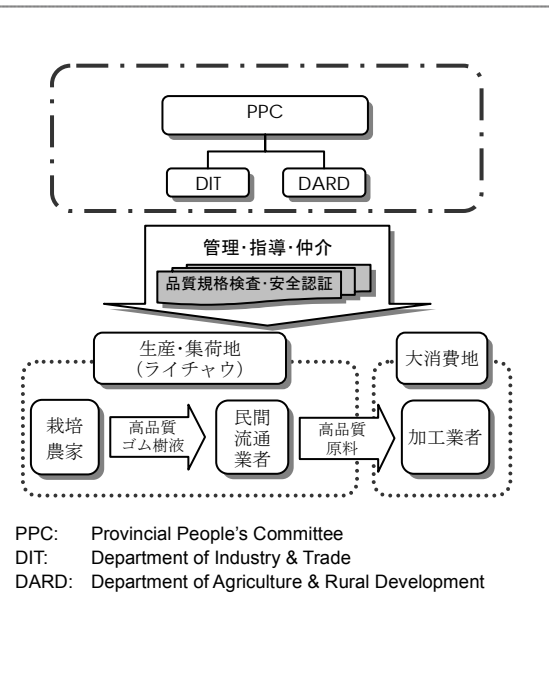
本アクションプランではゴムノキの適正な栽培管理・収穫方法を地域住民に普及するとともに、民間の天然ゴム業者に原料ゴムの巡回収集および適正な対価での買い取りシステムを構築するように指導するものである。また、販路形成を支援し、農民が市場の求める品質を知り、品質管理への動機付けとする。他方、DARD および農業普及センターの職員にとっては、アグリビジネス振興における行政サービスのあり方を知る契機となる。

MPI・DPI は、民間業者の投資環境整備に関する諸施策について、必要な行政サービスを行う。

対象地域図：ライチャウ省全域



組織図



写真



ゴムノキの試験植栽
下層には陸稲が栽培されている



ゴムノキの苗木の生産

プロジェクトの要約								
上位目標 1. 農家の現金収入が多様化・増加・安定化する 2. 北西部特有の資源を利用した差別化された特産品が生産される プロジェクト目標 1. 地域住民の収入が向上する。		成果 1. 政府によってゴムノキ栽培農家、民間業者に対して優遇措置が図られるため、栽培・集荷ともに意欲的に取り組むことができる。 2. 需要の高いゴム樹液が生産され、生産農家、業者ともに現金収入が増加する。 3. 専門機関によって製品の品質規格検査が行われるため、天然ゴム加工業者が認証された高品質な製品を確保できる。						
活動		アウトプット	年次					
			1	2	3	4	5	6
1. 天然ゴムの生産・販売の実証 1-1 市場調査 1-2 DARD・農民の新規産品生産に向けた意識醸成 1-3 ゴム樹液の生産 1-4 ハノイでの営業活動 1-5 ゴム樹液の宣伝 2 民間のゴム原料収集業者に対する投資促進（MPI レベルでの検討を必要とする） 2-1 税優遇措置 2-2 長期低金利ローンの活用促進 2-3 一時貯蔵倉庫等用地の取得支援 2-4 インフラ（電気、道路）の整備促進 3 生産農民に対する生産環境の整備 3-1 生産農家への営農資金の低金利ローンの活用促進 3-2 生産農家への種苗、農機具、設備等の廉価での安定供給 3-3 農業インフラ（圃場・農道・灌漑設備等）の整備促進 4 生産管理指導 4-1 バリューチェーンへの意識醸成 4-2 品種の選定および統一 4-3 農作業・収穫・貯蔵の適正化 4-4 専門機関による品質規格および安全認定制度の制定 4-5 流通業者と農民による産品買上げ契約 5 DPI・DARD の能力向上 5-1 栽培・収穫技術に関する技術指導 5-2 生産・加工技術、生産管理、品質管理に関する技術指導 5-3 販路形成、拡大に関する技術指導 5-4 事業全体のモニタリング評価		顧客データベース ワークショップ記録 技術マニュアル 営業活動記録 パンフレット等 指導マニュアル 指導マニュアル 指導マニュアル 品質規格、安全規格 指導マニュアル 指導マニュアル 指導マニュアル 指導マニュアル 評価調査書						
投入								
1. 専門家 1-1 ゴムノキ栽培専門家 1-2 収穫後処理技術専門家 1-3 農産物流通・販売・商品企画専門家 1-4 法整備専門家 1-5 金融・税制専門家 1-6 農業協同組合専門家 1-7 事業評価・モニタリングの専門家		2. パイロット事業関連資機材 2-1 ゴム樹液保管施設 2-2 ゴム樹液輸送用 4WD トラック（積載容量 2ton） 3. ワークショップ、研修会等の費用 4. PC および周辺機材						
実施にかかる留意点								
1. 金融および税制の法整備を行い、ゴムノキ栽培農家・民間業者双方がともに参画する意欲が持てるよう環境を整備する。 2. ゴムノキの栽培にあたっては、極力有機農法を取り入れるものとする。 3. 専門機関による品質規格検査を構築し、厳しい品質管理を行い、消費者の信頼を得る製品を生産する。 4. 栽培農家・民間加工業者が安心して本プランに参画できるよう、政府側が公正な仲介を行う。								

計画	市場志向型農業振興計画		
プログラム	アグリビジネス振興プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省キノコ生産流通支援		
実施期間	6年		
対象地域/裨益者	ライチャウ省にてキノコの生産・流通をめざす農家と民間企業・団体		
実施機関	DARD	協力機関	DIT、FIRI、遺伝資源研究所

背景・目的

北西部の2020年に向けた工業化には、農産加工を主体とするアグリビジネスの発展が不可欠である。マスタープランで提案するアグリビジネス振興プログラムは、民間資本の導入を前提としたプログラムであり、北西部に対して投資インセンティブを有する民間企業の出現が待たれる。行政の強いイニシアチブの下で、民間誘致（投資環境整備）に係る法整備あるいは官民連携事業の形成などを進め、牽引役となるアグリビジネスの成功事例を早期に創設することが望まれる。

本アクションプランは、アグリビジネス推進における行政サービスの実証試験的な導入を目的としている。ライチャウ省において、域外資本の積極的な投入が期待される事業、すなわちライチャウ省で事業展開することに、地域的な比較優位性を有する事業を選定し、民間資本の誘致を行う。同時に原料生産を担う農民に対する支援を積極的に展開する。

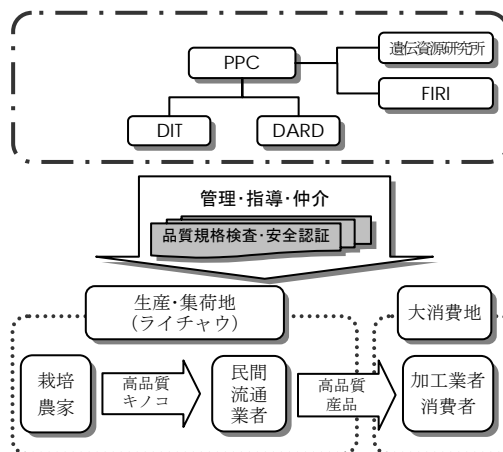
本アクションプランでは、国内消費量の拡大が見込まれるキノコ類の営農指導と品質管理の支援を実施する。土地依存性が低く、気象変動の影響を受け難いキノコ栽培は、農耕地の限られた農村部では特に有利な生産活動である。また、乾燥加工すれば、常温で流通でき、荷痛みを受けないことから、道路整備が遅れているライチャウ省に比較的導入し易い農産物と言える。本プランではキノコ類の栽培管理方法および乾燥貯蔵方法を地域住民に普及する。また、販路形成を支援し、農民が市場の求める品質を知り、品質管理への動機付けとする。他方、DARD および農業普及センターの職員にとっては、アグリビジネス振興における行政サービスのあり方を知る契機となる。

MPI・DPIは、民間業者の投資環境整備に関する諸施策について、必要な行政サービスを行う。

対象地域図：ライチャウ省全域



組織図



DIT: Department of Industry & Trade
 DARD: Department of Agriculture & Rural Development
 FIRI: Food Industry Research Institute

写真



乾燥したのちに市場で販売されているキノコ類。
 左はシイタケに似たもの。右はククラゲに似たもの。

プロジェクトの要約							
上位目標 ライチャウ省において果物生産農家の所得が向上し、同時にクリーン果物が地域経済の成長に寄与する。		成果 1. 果物の苗木が生産・配布される。 2. 果物生産農家が果樹の植栽を行う。 3. 果物生産農家の食用作物生産量が増加する。 4. アグロフォレストリーの面積が拡大する。					
プロジェクト目標 果物の多様化が進み、クリーン果物が増産される。							
活動	アウトプット	年次					
		1	2	3	4	5	6
1. 苗木の生産・配布 1-1 Tam Duong, Phong Tho, Than Uyen の果物生産農家の実態調査 1-2 各郡 4 村落 (20 村落) の選定・参加農家 (合計 1000 世帯) の登録 1-3 12 村落の Village 苗木センター設置 1-4 果樹苗木の生産・配布 2. 農家レベルでの有機肥料・忌避剤の生産と利用 2-1 農家レベルでの堆厩肥 (稲藁+厩肥) の生産指導 2-2 VAC システムの指導 2-3 木搾・EM 菌の生産・配布 2-4 ニーム・レモングラスの植栽推進 3. 果樹苗木の植栽・維持管理 3-1 整地 3-2 有機肥料の施与 3-3 苗木の植栽・保護柵 3-4 苗木の維持管理・病虫害防除 3-5 間作 (メイズ・大豆等) の播種・管理・収穫 4. アグロフォレストリーの造林 4-1 帯水バンド・排水路・その他の土壌保全工 4-2 整地・植栽・保護柵 4-3 ゴムノキ・その他樹種との混植 5. 販路形成・販売促進に向けた支援 3-1 販路形成・北西ブランド普及のための政府キャンペーン 3-2 事業効果のモニタリング評価	ベースライン調査報告書 登録農民リスト 議事録・合意文書 設計書類 農作業記録 農作業記録 ホスター、パンフレット モニタリング報告書	■					
投入							
1. 専門家 1-1 果樹栽培専門家 1-2 コミュニティ開発専門家 1-3 植物病理専門家 1-4 市場流通専門家 1-5 事業評価・モニタリング専門家	2. クリーン野菜推進センター関連資機材 2-1 技術展示圃用資機材 2-2 加工機器ユニット 2-3 車両 (積載容量 2ton) 3. 教材、耕種栽培ガイドライン等 4. PC, AV 研修機材						
実施にかかる留意点							
1. 日本国際ボランティアセンター(JVC)によるソラ省コマ村の苗木場経営と植栽技術普及の経験を活用する。 2. 農民に対するクリーン果物生産等の教育訓練には、CLC の活用が効果的であろう。 3. 比較的生育の早い果樹 (パパイヤ・ブルーベリー等) を含む 10 種程度の果樹を選定する。選定に当たっては、MARD および MARD 所轄の試験研究機関への聞き取り・市場調査を十分に行う。							

計画	市場志向型農業振興計画		
プログラム	北西部国境貿易支援プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省国境地域インフラ整備		
実施期間	3年		
対象地域/裨益者	ライチャウ省 Phong Tho 郡		
実施機関	PPC	協力機関	MOIT、MARD、MPI

背景・目的

ライチャウ省 Phong Tho 郡 Ma Lu Thang には中国へ經由する交易ルートがある。国境貿易の推進には、まず、特産品の開発を進める必要がある。工業化が遅れている北西部においては、当面、農作物および農産加工品を輸出産品の中心に据えることが妥当である。市場志向型農業開発プログラムの下で、農産物の品質向上を進め、特産品の一部を、将来の輸出産品へと成長させていく努力が必要である。

他方、国境貿易の安定的な成長には、国境地域に暮らす人々の生活が守られ、持続的な地域活動が定着・発展していくことが重要である。他の貧困削減事業と連携し、インフラ整備が国境地域に集中するような調整を行う。特に、道路整備・公共交通機関の導入を優先し、農村電化、給水、学校、医療、通信等のインフラを増設する。また、感染症・伝染病（HIV、マラリア、ポリオ）の予防、麻薬撲滅に関する啓蒙の機会を増やし、地域住民の健康な生活を守る。遠隔地における食用作物増産プログラム(2.1)と連携し、地域の食料増産を推進する。精米機・製粉機、穀物倉庫、市場の新設なども、投資インセンティブが低い状況にあつては、行政が実施することも考慮する。

北西部における交易は、単なる経済活動ではなく、国境を介した民族の人的・文化的な交流でもある。地域振興の大きな支えとなる地元住民への配慮や地域資源の保全についても、価値観を共有するための活動も肝要である。北西部の地域資源である観光ポテンシャルは国境地域に分布していることから、北西部国境貿易支援プログラムの実施は、観光村・グリーンツーリズム導入プログラム(3.3)の発展にも貢献する。

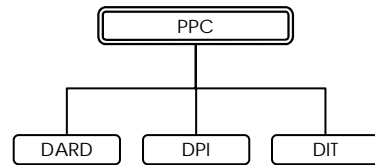
本アクションプランでは、Phong Tho 郡 Ma Lu Thang における流通インフラ整備（道路、公共交通機関、通信、倉庫、流通センター、長距離運送業者用の宿泊施設など）および Phong Tho 郡の貧困削減を目的とした農村インフラ整備を実施する。以上のインフラ整備に加えて、中国昆明市に対する北西部特産品の宣伝、新たな商品開発に向けた市場調査など、北西部の農産物および農産加工品の輸出振興に向けた様々な支援活動を実施する。

対象地域図：ライチャウ省

本アクションプランの対象郡



組織図



PPC: Provincial People's Committee
 DPI: Department of Planning & Investment
 DIT: Department of Industry & Trade
 DARD: Department of Agriculture & Rural Development

写真



Ma Lu Thang 国境。手前がベトナム。国際河川をまたぐ橋を渡った向こう側が中国



中国側は「金水河」という国境名



ベトナム側の出入国管理等の事務所

プロジェクトの要約													
1. 専門家 1-1 地域開発専門家 1-2 農村インフラ専門家 1-3 流通マーケティング専門家 1-4 コミュニティ開発専門家 1-5 事業評価・モニタリング専門家		2. 資機材 2-1 技術要員教育・訓練用資機材 2-2 AV機器等展示圃運営用機材 2-3 展示圃運営用農具・農機具 3. マニュアル、教材 4. PC、インターネット機材											
活動	アウトプット	年次											
		1	2	3	4	5	6						
1. 国境貿易の推進 1-1 国境貿易推進のための情報宣伝活動の拠点構築 (北西部特産品の展示・販売所の設置) 1-2 政府主導による国境貿易推進キャンペーン (HP、新聞、TV、パンフレット、地域情報誌) 1-3 中国に向けた情報発信 (北西部特産品および環境保全キャンペーン) 1-4 優秀特産品発掘のための品評会の開催 (表彰制度、貿易会社等へのPR) 1-5 中国との交流・イベントの開催 (文化交流イベント、環境保全イベント) 2. 国境地域の生活環境改善 2-1 地域住民の生活実態の把握を目的としたベースライン調査 (GIS データベース構築) 2-2 交通手段の充実 (国境ゲートとのリンクを考慮した道路整備、公共交通機関の運行) 2-3 農村電化の推進 (治安維持には不可欠であり、再生可能エネルギー利用も考慮する) 2-4 学校増設と初等教育・成人教育の推進(教育省との連携) 2-5 医療施設の改善・新設と公衆衛生の改善(保健省との連携) 2-6 通信手段の充実(携帯電話の通信可能圏の拡大) 2-7 治安改善に向けた施策の実施 (麻薬撲滅、不法滞在者・越境移動制限など) 3. 国境地域の環境保全 3-1 国立公園、自然保護区内の設備の充実(観光拠点の強化) 3-2 環境破壊の未然防止に係る監視体制強化(国境治安警察との連携)	展示・販売所	HP、新聞など	中国向けポスター・パンフ	品評会記録	イベント企画書・報告書	ベースライン調査報告書	道路整備事業年次報告書 公共交通機関運行記録 電化事業年次報告書	教育事業年次報告書	通信事業年次報告書				
投入													
上位目標 ライチャウ省の国境地域の貧困削減が進み、対中国国境貿易が成長する。		成果 1. 北西部の特産品が中国市場で認知される。 2. Ma Lu Thang の国境施設・流通インフラが拡充される。 3. Phong Tho 郡の農村インフラ整備が進む。											
プロジェクト目標 1. Ma Lu Thang 国境ゲートにおける貿易額が増加する。 2. Phong Tho 郡の貧困率が下がる。													
実施にかかる留意点													
1. Ma Lu Tang 国境ゲートを有する Phong Tho 郡が交易ルート(通過点)としてのみ機能するのではなく、国境貿易が地域経済にプラスの影響をもたらすためには、地元住民の生活改善および経済活動への参加機会創設を同時に進めていくことが必要である。民生安定には食料安全保障の充実が不可欠であり、食用作物増産プログラム(2.1)の積極的な実施が効果的であろう。 2. 市場志向型農業振興計画の下で実施される、伝統的工芸作物生産性改善プログラム(1.1)、アグリビジネス振興プログラム(1.2)、安全農作物生産支援プログラム(1.3)の3プログラムで、中国市場のニーズに沿った製品開発を推進することが必要である。 3. 国境貿易の推進には多くの政府機関が関与するため、ステアリングコミッティを組織し、MPI の参画を得ることで、事業の円滑化が図られると思われる。 4. 既に中国はライチャウ省の道路網拡充を援助しており、他のインフラを含めて中国の援助計画を把握しておくことが重要となる。 5. ライチャウ省北部の国境地域は、少数民族が多く居住し、天然林の豊かな景観から、ソフトトレッキング、スポーツフィッシングなど、観光開発のポテンシャルが大きい。観光村・グリーンツーリズム導入プログラム(3.3)の連携も有効である。													

計画	北西部食糧安全保障改善計画		
プログラム	遠隔地における食用作物増産プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省の米を主体とする食糧増産支援		
実施期間	6年		
対象地域/裨益者	ライチャウ省内において食糧自給が満たされていない地区を対象とする。 特に、Tam Duong 郡と Phong Tho 郡を優先地区とする。		
実施機関	DARD	協力機関	DPI、農業普及センター

背景・目的

ライチャウ省における水稲の作付面積は 21,000ha であり、一人当たりの作付面積は 0.07ha、平均収量が 3.9ton/ha である。同省の水稲および陸稲を合わせた籾生産量は 93,000ton であり、一人当たりの籾供給量は 295kg(精米換算で 192kg)と全国平均を上回っている。ただし、アクセスが劣悪な遠隔地では、米不足を生じている。これら、米不足を生じている山間地では、メイズ、キャッサバ、甘薯等で不足分を補っていることから、食糧安全保障の維持には、地域特性に配慮しながら、適地適作による食用作物の増産を進める必要がある。

北西部における食用作物の生産には、民族夫々の居住環境と関連して栽培方法が異なっている。タイ族(域内人口の30%)・ムオン族(23%)は一般に低地で水稲を栽培している。他方、山岳部に居住するモン族・ザオ族(合計15%)は、陸稲・トウモロコシ等の畑作を営む。したがって、畑作物の栽培技術を改善し、持続的な食糧の自給体制確立を目指すことも肝要である。

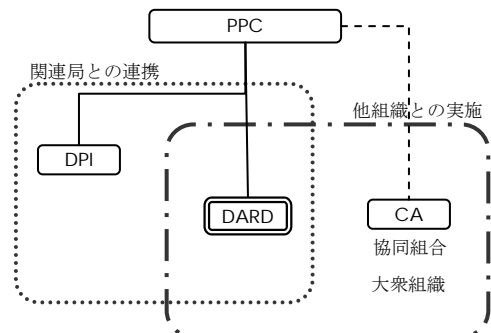
食糧の持続的な増産には、既存耕種法の改善と生産基盤整備(灌漑開発、棚田・階段畑の造成など)の両面から開発努力を続ける必要がある。アクションプランでは、即効性が期待される、耕種法の改善を中心に、①優良改良品種の普及、②投入材の適正使用技術の普及、③農作業の合理化と作付体系の集約化、④適正農具の普及等を実施する。

対象地域図：ライチャウ省

本アクションプランの優先郡(2郡)

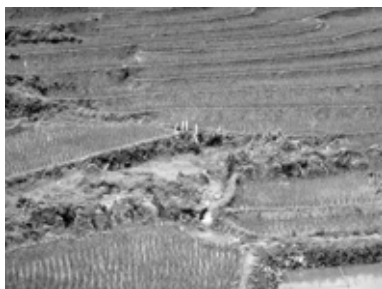


組織図



PPC: Provincial People's Committee
 DPI: Department of Planning & Investment
 DARD: Department of Agriculture & Rural Development
 CA: Cooperative Alliance

写真



ライチャウ省は北西部の中でも急峻な地形が占める割合が多いが、耕作可能な場所には多くの努力の末に棚田が開かれています。

プロジェクトの要約								
上位目標		成果						
ライチャウ省の持続的な食糧安全保障の確立		1. 米の安定的増産						
プロジェクト目標		2. 米以外の食用作物の増産による食糧不足コミュニケーションの解消						
1. 主要な食用作物の安定的な増産が図られる		3. 品質改善による余剰分の商品化						
2. 余剰生産物の商品化に向けた品質向上								
活動		アウトプット	年次					
			1	2	3	4	5	6
1. パイロット事業設計調査								
1-1 DARD による地区選定		選定地区リスト	■					
1-2 営農並びに農業支援活動の現況調査		ベースライン調査報告書	■					
1-3 食用作物の栽培技術のレビューと適正化の検討		適正耕種法マニュアル	■					
1-4 農民組織と組合活動の実態調査			■					
1-5 パイロット事業の実実施計画策定		パイロット事業計画	■					
1-6 対象地区に対する計画説明と合意形成		事業実施合意書	■					
2. 稲作主体の食糧自給対策パイロット事業								
2-1 省・郡の農業改良普及員の教育・訓練								
2-1-1 実施計画策定		実施計画書	■					
2-1-2 農業改良普及員の教育・訓練		教育訓練記録	■	■				
2-1-3 農業改良普及員の移動手段強化と活動資金の予算化		予算書	■	■				
2-1-4 展示圃の設置・運営		組織図・職員配置図	■	■				
2-2 農民組織（農業協同組合）の組織強化と活動活性化								
2-2-1 組織運営にかかる人材育成（教育・訓練プログラム）		組合活動マニュアル	■	■				
2-2-2 農業協同組合の結成		組合活動計画書	■	■				
2-2-3 生産材の購買・余剰産物の販売			■	■				
2-3 米増産対策と収穫後処理								
2-3-1 棚田の造成（勾配7度以下の既耕地対象）		棚田設計基準		■	■			
2-3-2 優良品種の導入・普及（含、種苗公社の技術的強化）				■	■			
2-3-3 耕種法の改善と作付体系の合理化と集約化		農作業マニュアル		■	■			
2-3-4 有機農法の導入・普及		有機農法マニュアル		■	■			
2-3-5 適正農機具（田植え定規、田車、脱穀機等々）の普及		農具使用マニュアル		■	■			
2-3-6 初乾燥と精米施設整備（協同組合経営）		精米の品質調査		■	■			
2-4 メイズ他畑作食用作物の増産対策								
2-4-1 階段畑の造成（勾配15度以下の既耕地対象）		安全耕作と地力保全効果		■	■			
2-4-2 優良品種の導入・普及（含、種苗公社の技術的強化）		メイズ一代交配種の増殖・配布		■	■			
2-4-3 耕種法の改善		肥培管理の合理化と増産効果		■	■			
2-4-4 作付体系の合理化と畑耕作の集約化（二毛作導入）		土地生産性向上と耕種の多様化		■	■			
2-4-5 適正農具・農機具（除草鋏、鋸鎌、脱粒機等々）の普及		労働生産性の改善効果		■	■			
3. 他地域への稲作主体の食用作物増産技術の普及						■	■	■
投入								
1. 専門家		2. 資機材						
1-1 末端圃場整備専門家		2-1 技術要員教育・訓練用資機材						
1-2 稲作専門家		2-2 AV機器等展示圃運営用機材						
1-3 畑作専門家		2-3 展示圃運営用農具・農機具ト						
1-4 農事技術普及専門家		3. マニュアル、教材						
1-5 農業協同組合専門家		4. PC、インターネット機材						
1-6 事業評価・モニタリングの専門家								
実施にかかる留意点								
1. 一部の農民は、中国製のハイブリッド種水稻の栽培を経験しているが、当面は通常改良種の中から適応品種を選び、耕種法の改善を基本として増産対策と取り組むことを提言する。								
2. 耕種法の改善が必要である。特に、直播方式から移植法への転換、栽植密度の適正化、葉令4.5枚（18-20日）の若令苗を使用などが重要である。								
3. 稲作の集約化には生産基盤整備は不可欠であるが、開発投資が水田農家に集中する傾向にあること、土木工事の費用対効果および裨益農民数に限界がある等の制約要因に留意し、生産基盤整備は慎重に進めていくことが肝要である。								

計画	北西部食糧安全保障改善計画		
プログラム	家畜衛生・生産性向上プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省における組合方式の水牛共同牧場の普及		
実施期間	3年		
対象地域/裨益者	ライチャウ省の畜産農家		
実施機関	DARD	協力機関	生産者組合
<p>背景・目的</p> <p>北西部の水牛の飼養頭数は、全国の16%（2007, MARD）を占める。ただし、ディエンビエンとライチャウは他2省に比較して、低い傾向にある。肉牛も同様で、両省の飼養頭数は北西部の総頭数の15%に留まり、一農家あたりの飼養頭数は、3～5頭程度である。ベトナム政府は定期的に口蹄疫ワクチン接種等の行政サービスを行っているが、ライチャウ省はアクセスが困難で、DARDの職員も不足していることから防疫体制は脆弱である。</p> <p>ライチャウ省では、DARDが所有する遊休地に周辺農家が日中放牧することを許可している。背景には同省の牛バンク制度（5頭を最小単として貸付。産仔を得た場合これを省に返還）の振興がある。本アクションプランでは、ライチャウ省の先事例をモデルとし、DARDが少数民族を会員とする水牛共同牧場を整備する。これにより、分散している水牛群の集中管理がある程度可能となり、同時に、農家に対する畜産経営指導や教育訓練の場を提供することになる。域外に対しては、口蹄疫撲滅対策を推進しているモデル農場としてキャンペーンし、安全な畜産物を提供するアウトレットとしても機能させる。</p> <p>水牛共同牧場では、家畜糞尿を利用しバイオガスや有機肥料の利用に関するトレーニングを実施し、液肥や肥料を周辺農家に提供することで、地域循環型農業の展示農場としても機能させる。飼料の安定的な供給を考慮すると一定のスペースに放牧あるいは舎飼いできる頭数は限定されることから、短期間の研修を継続して開催し、出来る限り多くの会員が裨益できるようにする。将来は、大型パイロットファームとして、機能充実を図り、多くの畜産農家へのサービスを展開すると共に、郡レベルでの小規模な共同牧場の設置も検討する。</p> <p>行政のサービスを向上させ、山岳地域の農家の家畜経営環境の困難な点を改善できる組合牧場の導入は、2020年を開発目標年とする畜産開発計画（10/2008/QD-TTg）とも整合性のとれた活動となる。</p>			
対象地域図：ライチャウ省		組織図	
		 <p>NIAH: National Institute of Animal Husbandry DARD: Department of Agriculture & Rural Development</p>	
<p>写真</p>			
			
<p>北西部で飼育される水牛</p>		<p>共有地での効率的な水牛飼育を目指す</p>	
			
<p>水牛は役畜として耕運作業や運搬等に利用される</p>			

プロジェクトの要約							
上位目標	成果						
対象地域全体の大型反芻家畜の飼養頭数が増加する	1. 畜産行政サービスの普及が促進される						
プロジェクト目標	2. 大型反芻家畜の伝染病発生率が減少する						
対象地域内の小規模家畜農家の所得が向上する	3. 畜産農家の所得向上						
域内における畜産行政サービスが向上する	4. 地域循環型農業の定着						
活動	アウトプット	年次					
		1	2	3	4	5	6
【大型反芻家畜（牛、水牛）の生産組合牧場整備】 1. DARD（省）における生産組合牧場設置検討会の設置 1-1 設置予定エリアの検討 1-2 家畜投入規模の検討 1-3 郡、コミュニオンへの意見徴収、事業説明 1-1-4 運営方法、定款の検討 1-5 DARD 職員の類似事例研修 2. 畜産行政サービスの実施 2-1 牧場の開設 2-2 飼養管理技術の研修、体験学習 2-3 伝染病対策ワクチン接種 2-4 防疫対策の研修、体験学習 2-5 人工授精サービスの普及および実施 2-6 地域循環型畜産経営方法の指導 2-7 牧場運営費の管理、徴収支払 3. 行政による事業支援と渉外 3-1 民間企業への事業紹介、投資誘致 【組合運営】 4. 牧場利用農家への活動 4-1 利用管理計画の作成 4-2 牧場施設管理 4-3 運営資金管理 4-4 飼料調達および肥料配送管理 5. 行政との製品開発 5-1 牧場付帯施設における生産物利用と市場調査	- データベース - データベース - ガイドライン - 定款 - 研修員派遣 - 建設工事 - 研修記録 - 記録台帳 - 研修機材 - 記録台帳 - マニュアル - バランスシート - DARD ホームページ など - 議事録 - 管理記録 - バランスシート - 管理記録 - 売上記録、調査記録						
投入							
1. 専門家 1-1 家畜経営専門家 1-2 食品加工専門家 1-3 家畜繁殖専門家 1-4 家畜病理専門家 1-5 社会開発の専門家 1-6 環境開発の専門家	2. その他 2-1 牧場運営機材 2-2 バイオガス関連機材 2-3 食品加工機械 2-4 ワークショップ、研修会等の費用 2-5 マニュアル、教材 2-6 PC、インターネット機材						
実施にかかる留意点							
1. 農民に対して畜産経営が生活の質の向上をもたらす手段となることを啓蒙する必要がある。 2. 家畜を所有する限り、伝染病の危険が隣り合わせであること、所有する家畜が感染源となる危険があることを認識させる。 3. 事業実施には異なる民族の習慣や伝統に配慮すること。 4. 集約的な家畜飼養は、伝染病により大きな損害を招く恐れがあるため、常に十分な防疫管理に努めること。 5. 牧場は会員農家による共同運営とするが、行政側は監査を実施し、必要に応じて運営にも介入し事業の持続性を図る。 6. 会員だけの施設とせず、行政による適正技術の普及の場となるよう、事業を積極的に紹介していく。							

計画	北西部食糧安全保障改善計画		
プログラム	内水面漁業支援プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省水田養殖パイロット事業		
実施期間	3年（2020年を目標とした前・後期6ヵ年間）		
対象地域/裨益者	Tam Duong 郡 Bang Giang Commune		
実施機関	DARD、水産局	協力機関	農民組合、婦人組合、青年組合、（退役軍人組合）

背景・目的

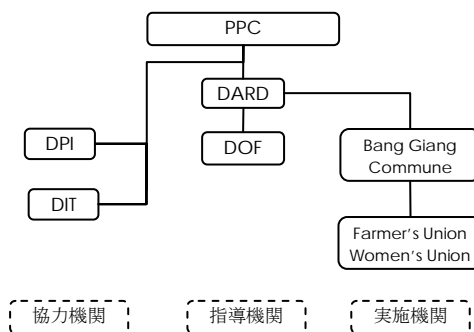
ライチャウ省の谷地は、一般に水量は豊富であるが、面積が限られているため、水田と競合し、結果として養漁池が広がらない状況にある。本アクションプランでは、ライチャウ省に適した水田養殖の技術を開発・普及する。養殖の盛んな Tam Duong 郡 Bang Giang Commune にて、水田養殖のパイロット事業を実施する。同コミュニティでは、養殖を営む農民が 628 世帯の約 30%に当る 200 世帯に及ぶ。本アクションプランを通じて、養殖を営む 220 世帯に水田養殖を普及し、残り 420 世帯の農民に対する動機付けを行う。養殖は労働負荷が小さいことから、本アクションプランを通じて、女性のグループ活動として水田養殖を普及する。なお、同パイロット事業は、首相によって承認された 2010 年までの漁業開発マスタープランとの整合性を取るとともに、DANIDA の SUDA プロジェクトと連携して実施するものとする。本アクションプランの目標は、以下のとおりである。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ① 対象コミュニティにおいて、プロジェクトのスキームの協議 | ② 現存水田の規模、数量、総面積の把握 |
| ③ 水供給の現状の把握と水量増大可能性の検討 | ④ 種苗必要量の把握 |
| ⑤ 中間育成施設の規模の決定と専従職員の配置 | ⑥ 販路の開拓と訓練・指導プログラムの設定 |
| ⑦ 水田養殖事業希望者への水田改修の支援と技術指導 | ⑧ 水田養殖パイロット事業の開始 |
| ⑨ 水産物販路の開拓と訓練・指導プログラムの設定 | ⑩ 水田周辺の環境整備と、世界水準の持続的養殖モデルの確立 |

対象地域図：ライチャウ省



組織図



PPC: Provincial People's Committee
 DARD: Department of Agriculture & Rural Development
 DOF: Department of Fisheries
 DPI: Department of Planning & Investment
 DIT: Department of Industry and Trade

写真



水田養殖の技術普及により、各世帯の食卓に魚が増えることが期待される

プロジェクトの要約		年次					
活動	アウトプット	1	2	3	4	5	6
プロジェクトの要約 上位目標 農家の現金収入が多様化・増加する。 北西部の養殖業が環境と調和して持続する。 プロジェクト目標 プログラム対象地区の養魚事業が振興する。 平均魚食量が増加する、現金収入が増加する。	成果 1. 水田養殖にかかる環境が整備される。 2. 種苗中間育成施設が設立され、コミュニン内での種苗供給が容易になる。 3. 水田養殖の技術が普及する。 4. 研修により、農民及び水産局オフィサーの知識・技術が向上する。						
活動 1. 水田の現況の把握と水供給のシステム化 1-1 現況の把握 1-1-1 現存水田の規模・数量・面積の把握 1-1-2 使用可能水量の把握 1-2 水供給のシステム化 1-2-1 水田養殖に必要な水量の試算 1-2-2 水源及び天水からの水供給のシステム化 2. 中間育成センターの設立 2-1 種苗の安定供給 2-1-1 水田養殖対象魚種の検討と決定 2-1-2 センター規模・種苗入手先の検討 2-1-3 専従職員の配置 2-1-4 センターの建設 3. 水田養殖の普及 3-1 水田養殖にかかる人材育成 3-1-1 事業支援対象者の選定 3-1-2 水田養殖事業の訓練・指導 3-1-3 水田養殖事業の開始 3-2 養殖生産物販路の検討 2-2-1 既存の販路の確認、国外も含む新たな販路の開拓 2-2-2 先進地域への視察ツアー 3-3 魚病対策 3-3-1 魚病対策指導員の巡回指導 3-3-2 魚病対策薬品の確保と貯蔵 4. マイクロクレジットの検討 4-1 養殖事業経営の試算 4-1-1 初期投資、ランニングコストの試算 4-1-2 販売収入の試算 4-2 マイクロクレジット可能性の検討 4-2-1 既往成功例・失敗例の把握 4-2-2 マイクロクレジットシステムの構築 5. DARD 水産局オフィサーの能力向上 5-1 技術普及に向けた指導員の育成 5-1-1 養魚技術に関する技術指導 5-1-2 魚病対策に関する技術指導 5-1-3 生産物貯蔵に関する技術指導 5-1-4 加工・保存・運搬技術に関する技術指導 【6. 持続的な養殖事業の展開】 6-1 環境整備 6-1-1 水田の周辺環境整備 6-2 持続的な養殖事業への取組 6-2-1 普及員、篤農家の育成・技術普及 6-2-2 モニタリングシステムの構築 6-2-3 持続的な養殖事業の情報発信	アウトプット - データベース - データベース - 統計表 - 水供給マップ - 選定マニュアル - 技術マニュアル - 職員リスト - 技術マニュアル - 選定マニュアル - トレーニング教材 - 生産統計 - 販路マップ - 研修経験記録 - 魚病対策マニュアル - 魚病対策薬品セット - 養殖経営実務マニュアル - 経営バランスシート - マニュアル - 貸借バランスシート - 指導マニュアル - 指導マニュアル - 指導マニュアル - 指導マニュアル - 指導マニュアル - 指導マニュアル - 事業モデル - HP、情報誌						
投入							
1. 専門家 1-1 社会開発専門家 1-2 淡水魚種苗生産の専門家 1-3 淡水魚養殖・魚病の専門家 1-4 流通・マーケティング専門家 1-5 環境保全専門家	2. パイロット事業関連施設、資機材 2-1 種苗生産、魚病研究センター 2-2 ポンド建設資材 2-3 種苗生産用資機材 2-4 魚病対症薬品 2-5 マニュアル、教材						
実施にかかる留意点							
1. ベトナム国漁業開発マスタープラン及び本マスタープランとの整合性を持つ計画とする。 2. 過去の失敗事例に学び、種苗生産センターの種苗生産が必ず成功するように、技術力・精神力の強化と効果的な支援を図る。 3. 世界の水産業では、持続的な養殖業、環境と親和する養殖業が標榜されており、本アクションプランでも、①栄養段階の低い魚種対象、②植物性の餌料の使用、③農業・畜産業との連携、④小規模で粗放的な養殖に留意する。 4. 関連局・関連組織と連携し、草の根的で、伝統・習慣に配慮した事業支援を実施する。 5. コミュニン内での少数民族間の関係に配慮し、損害・便益の不均衡が生じないように実施する。							

計画	地域活性化・収入源多様化		
プログラム	非木材林産物 (NTPF) 振興プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省での総合的な NTFP 管理の導入支援		
実施期間	6年		
対象地域/裨益者	ライチャウ省 Mùòng Tè、Sìn Hồ、Than Uyên 郡 各郡の NTFP を担当する DARD 担当者および NTFP の生産者		
実施機関	DARD (Sub-DOF)	協力機関	NTPF センター、協同組合連盟等

背景・目的

ライチャウ省では、NTPF としてタケ・ラタン、スパイス・薬草などが多く生産されている。タケは食用として利用されるほか、建材、工芸品原料として利用されている。スパイスや薬草などその他の NTFP は、農家にて生産されたり、保全林から採取され販売されたりしているが、いずれも、地域内での消費に回る程度で、地域外への搬出は少ない。この一つの原因として、NTPF の保存技術のレベルが低いため、域外への搬出が困難である、ということが指摘されている。一方、ホアビン省で実施中の JICA の先行プロジェクトであるベトナム国北部荒廃流域天然林回復計画 (RENFODA: JICA 技プロ、2008 年 9 月終了予定) においては、タケ・ラタンをはじめ、各種の多目的樹種、薬草類の試験植栽を実施して、北西部に今後導入が期待できる品種が認められた。

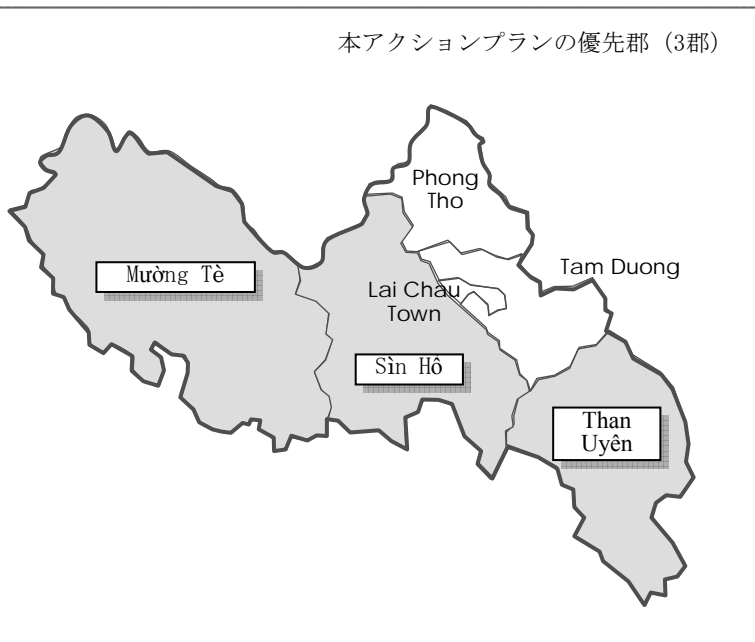
本プログラムにおいては、ライチャウ省での既存の NTFP の生産状況をもとに、上記 RENFODA プロジェクトの成果を活用し、下記の多種類の NTFP について、Mùòng Tè、Sìn Hồ、Than Uyên の各郡において、①生産状況の確認、②生産技術の向上、③加工技術・保存技術の向上、④販路拡大、⑤協同組合の設立に係る支援を行う。

- ・薬草 (Sa nhân, Thảo quả) : Mùòng Tè, Sìn Hồ, Than Uyên 郡
- ・タケ (Tre nứa, luông) : Mùòng Tè 郡
- ・ラタン (Song, mây) : Mùòng Tè, Sìn Hồ 郡
- ・ラック (Cánh kiến) : Mùòng Tè, Sìn Hồ 郡
- ・アブラギリ (Trầu) : Mùòng Tè, Sìn Hồ 郡

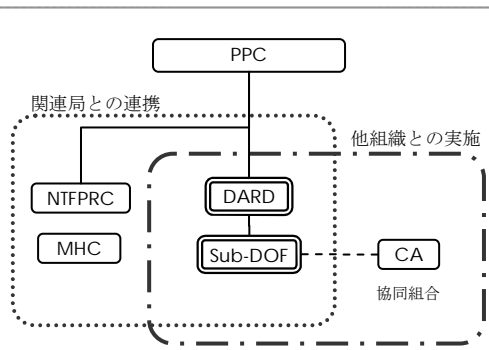
特に、保存技術の向上を含めて、生産、加工、搬出まで、総合的な管理体制を強化することを目的とする。

また、⑥新たな NTFP の導入に関しては、多目的樹種として Sáu, Trám (Trám chim, Trám trắng, Trám đen)、薬草類として Talauma Giỏi, Ba Kích を検討する。

対象地域図：ライチャウ省



組織図



PPC: Provincial People's Committee
 DARD: Department of Agriculture & Rural Development
 Sub-DOF: Sub-Department of Forestry of DARD
 NTFPRC: NTFP Research Center in FSIV
 MHC: Ministry of Healthcare
 CA: Cooperative Alliance

写真



各種のタケノコが販売されている



干シタケノコの生産

プロジェクトの要約							
上位目標		成果					
ライチャウ省での農家の現金収入が多様化・増加する。 ライチャウ省の資源を有効的に利用した生産物が増加する。		1. NTFP の現存量、生産量が把握される。 2. NTFP の生産が安定的に行われる。 3. NTFP の（一次）加工が行われ、販路が拡大する。 4. NTFP 協同組合が形成される。 5. NTFP 研修により、担当技術者の知識・技術が向上する。 6. 新たな NTFP が試験導入される。					
プロジェクト目標							
プログラム対象地区の NTFP 産業が育成される。 プログラム対象地区で新たな NTFP が開発・生産される。							
活動	アウトプット	年次					
		1	2	3	4	5	6
1. NTFP の資源量の把握 1-1 資源量の把握 1-1-1 NTFP の現存量・利用状況把握に係る支援 1-2 NTFP 資源量把握に係るモニタリングの実施 1-2-1 NTFP 資源量把握に係るモニタリングの実施 2. NTFP 生産振興 2-1 苗木の生産 2-1-1 ライチャウ省に適した NTFP の品種の確保・開発 2-1-2 苗木生産用苗畑の建設・拡充 2-1-3 苗木の生産 2-1-4 生産地（植栽地）の確保 2-1-5 苗木の植栽 2-2 NTFP の原材料の生産・保管 2-2-1 既存生産地の管理・保育 2-2-2 植栽地の管理・保育 2-2-3 既存生産地での生産・保管技術の研修・実施 2-2-4 新規植栽地での生産・保管技術の研修・実施 2-2-5 先進地域への視察ツアー 2-3 NTFP 生産振興に係るモニタリングの実施 2-3-1 NTFP 生産振興に係るモニタリングの実施 3. NTFP 加工振興・販路拡大 3-1 NTFP 加工技術の向上 3-1-1 既存の NTFP 加工技術の把握 3-1-2 既存の NTFP 加工技術の改良 3-1-3 新たな NTFP 加工技術の開発 3-1-4 NTFP 加工施設の拡充・建設 3-1-5 先進地域への視察ツアー 3-2 NTFP の販路の確保 2-2-1 既存の NTFP 販路の確認 2-2-2 新たな NTFP 販路の開拓 2-2-3 国内外の企業間のネットワークの形成 2-2-4 先進地域への視察ツアー 3-3 NTFP 加工振興・販路拡大に係るモニタリングの実施 3-3-1 NTFP 加工振興・販路拡大に係るモニタリングの実施 【4. NTFP 協同組合振興】 4-1 NTFP 生産・加工・販売に係る組織体制の確立 4-1-1 生産組合の必要性の普及・啓蒙 4-1-2 新たな組織体制の確立 4-2 NTFP に係る法制度との整合性の確保 4-2-1 既存の法制度の確認 4-2-2 新たな法制度への提案・提言 4-3 NTFP 協同組合に係るモニタリングの実施 4-3-1 NTFP 協同組合に係るモニタリングの実施 5. ライチャウ省行政職員的能力向上 5-1 技術普及に向けた指導員の育成 5-1-1 現存量／利用状況の把握に関する技術指導 5-1-2 苗木生産技術に関する技術指導 5-1-3 原材料生産管理に関する技術指導 5-1-4 加工技術に関する技術指導 5-1-5 販路に関する技術指導 6. 新たな NTFP の導入支援 6-1 新たな NTFP の検討（市場調査を含む） 6-2 新たな NTFP の生産（苗木生産、植栽、管理） 6-3 新たな NTFP の加工技術支援 6-4 新たな NTFP の販路形成支援	データベース モニタリング報告書 技術マニュアル、データベース 苗畑 技術マニュアル 生産地（植栽地） 技術マニュアル 技術マニュアル 技術マニュアル 技術マニュアル 視察報告書 モニタリング報告書 データベース 技術マニュアル 技術マニュアル 技術マニュアル 技術マニュアル、加工施設 視察報告書 データベース 顧客リスト ネットワーク 視察報告書 フィードバック 普及マニュアル 技術マニュアル、新しい組織 データベース 提案・提言 モニタリング報告書 指導マニュアル 指導マニュアル 指導マニュアル 指導マニュアル 指導マニュアル 新たな NTFP 技術マニュアル 技術マニュアル データベース、顧客リスト						
投入							
1. 専門家 1-1 社会開発専門家 1-2 農産物加工・食品加工の専門家 1-3 林業・NTFP の専門家 1-4 薬草の専門家 1-5 流通・マーケティング専門家 1-6 組織形成の専門家	1-7 研修計画の専門家 1-8 個別の NTFP の専門家（短期） 2. 生産資材 2-1 植林のための資機材 2-2 育苗用資機材（種、肥料、苗畑用資機材等） 2-3 NTFP 保管・加工資機材（冷蔵・乾燥庫、加工施設用）	3. 施設（仮設物も含む） 3-1 苗畑 3-2 NTFP 加工施設 4. その他資機材 4-1 NTFP 現存量調査用資機材 5. マニュアル、教材 6. PC					
実施にかかる留意点							
1. 関連局・組織と連携し、総合的な支援を行えるように考慮する。 2. NTFP の多様化を図るため、地元で既に利用されている NTFP を推進するとともに、新たな NTFP を導入し普及させるよう努める。また、持続的な資源管理には、住民の合意形成や主体性が重要となるため、参加型手法を取り入れ事業を進める。 3. 協同組合の設立、ならびに既存の組合の組織強化と人材育成により、客先との関係を強化するとともに、生産者が主体となった生産活動を促す。 4. NTFP の種類により、植栽・保育方法、加工方法が異なるため、必要に応じて、NTFP 専門家の判断の元、品種に応じた専門家を招聘するなど、適切な支援を行う。 5. NTFP 開発保全国家計画（2005-2020）との整合性のある計画になるよう留意するとともに、ベトナム国北部荒廃流域天然林回復計画（JICA 技プロ、2008 年 9 月終了予定）の成果を考慮する。							

計画	地域活性化・収入源多様化計画		
プログラム	手工芸・農村副業支援プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省 CLC 活用による手工芸・食品加工振興		
実施期間	6年（フェーズ1:パイロット事業、フェーズ2:省全域への普及）		
対象地域/裨益者	ライチャウ省 Tam Dong 郡の Commune Learning Center（CLC）関係者、および大衆組織（協同組合、女性連合、青年組合）		
実施機関	DARD	協力機関	DIT、協同組合連盟、農業普及センター等

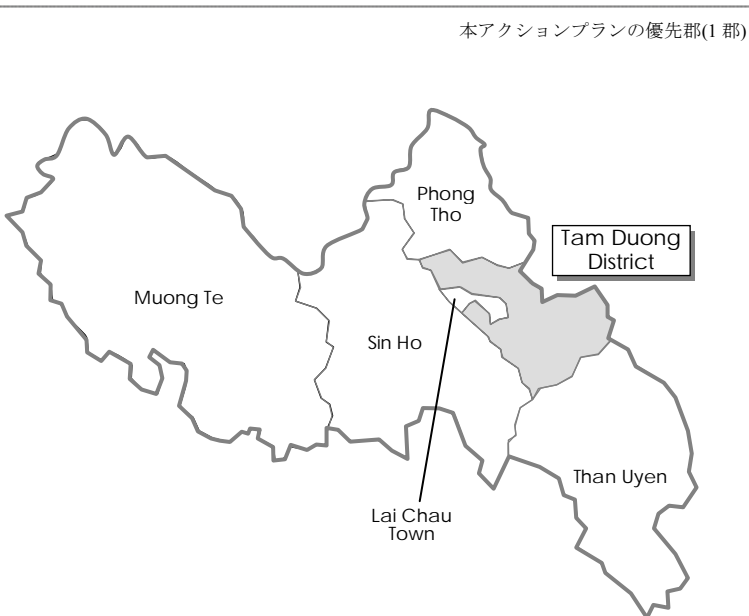
背景・目的

本アクションプランは、既存の企業・組織（協同組合、大衆組織）をエントリーポイントとするパイロット事業を実施するものである。なお、事業の持続性や波及効果を高めるため、行政能力の向上および技術普及員の育成を図る。

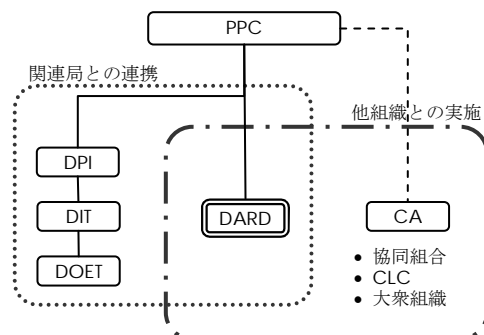
ライチャウ省の CLC では、農閑期の農民や女性のための手工芸・食品加工等の講習会が実施されてきた。近年、これら CLC の活動に対する住民のニーズは多様化・高度化する一方、それらに対応するための運営サイドの専門性の欠如や資金不足が課題となっている。本プランでは、フェーズ1として、Tam Dong 郡の CLC (Ban Bo Commune) を対象に、製品の多様化や材料の安定確保を目的とした各種技術指導や販売にかかる支援を行う。フェーズ2では、フェーズ1のモデル事業を基に、他地域への展開を目的とした活動を行う。

プログラムでは、手工芸製品（織物、和紙、竹細工など）や食品加工品（酒、果物や蜂蜜、茶等を利用した製品、搾油、美容品（化粧水・オイル等））、非木材林産物（NFP：ラック、タケ、キノコ、ラタン）等さまざまな製品開発を対象とするが、特に、ライチャウ省の茶や NFP は、材料調達面で比較優位性を持ち、また、近年は、域外需要も期待できるため、従来の加工に留まらない新しい製品開発を積極的に取り入れる。加えて、織物等伝統工芸品は、ターゲットグループとなる民族の慣習・文化の継承にも寄与することから、政府主導による支援の下、優先的に行うことが望ましい。

対象地域図：ライチャウ省



組織図



PPC: Provincial People's Committee
DARD: Department of Agriculture & Rural Development
DPI: Department of Planning & Investment
DIT: Department of Industry & Trade
DOET: Department of Education & Training
CA: Cooperative Alliance

写真



地元の地域資源を活用した生産活動の活性化が望まれる

プロジェクトの要約							
上位目標	成果						
農家の現金収入が多様化・増加する。 北西部の特産品が増加する。 プロジェクト目標 プログラム対象地区の地場企業が育成される。 プログラム対象地区で特産品が開発・生産される。	1. TOT トレーニングが実施され、生産支援、販売促進に係る行政能力が向上し、行政サービスが充実する 2. CLC の手工芸製品・加工食品の生産が改善する 3. 農家の材料調達が安定する 4. CLC の製品の販路が拡大する						
活動	アウトプット	年次					
		1	2	3	4	5	6
【ライチャウ省行政職員の能力向上】 1. 技術普及に向けた行政能力の向上 1-1 計画策定能力強化（住民参加による講習会等） 1-2 マーケティング(産地直送)支援 1-3 セルズプロモーションを目的とした地域のネットワーク作り 【手工芸・食品加工振興】 2. 生産改善・生産手法の普及 2-1 農産物、NTPF、食品等の加工技術指導 2-2 伝統的織物にかかる技術研修 2-3 梱包機材の導入・改善 2-4 先進地域への視察ツアー 3. 材料調達の改善 3-1 NTFP の材料確保に向けた植林、栽培 3-2 家庭菜園（野菜・果樹）の技術指導 3-3 家畜飼育、養殖、養蚕、養蜂等の生産改善指導 4. 製品の販売促進 4-1 梱包機材の導入・パッケージデザイン改良 4-2 販売促進にかかる研修（接客指導、会計、語学、PC 操作） 4-3 ロゴ、タグ等の作成 4-4 活動活性化を目的とした品評会・試食会 5. 技術普及に向けた指導員・普及員の育成 5-1 指導員・普及員の人選（伝統技術保有者、篤農家等） 5-2 技術指導にかかる研修 5-3 勉強会、先進地域への視察ツアー 【他地域への展開】 6. 他の CLC への活動普及 6-1 対象地域の選定、合意形成 6-2 指導員による TOT トレーニング 6-3 CLC での講習会 6-4 先進地域への視察ツアー	指導マニュアル 市場データファイル 顧客リスト 講習会実施記録 普及マニュアル 資源管理マニュアル モデル農園 適正な生産技術の普及 梱包技術の向上 農民に向けた講習会 梱包技術の向上 品評会・試食会 指導マニュアル						
投入 1. 専門家 1-1 社会開発専門家 1-2 農産物加工・食品加工の専門家 1-3 手工芸等の専門家 1-4 野菜栽培の専門家 1-5 林業、NTPF の専門家 1-6 農産物・食品加工・手工芸等の専門家 2. パイロット事業関連資機材 2-1 織物のための資機材（機織機、綿、シルク） 2-2 植林のための資機材 2-3 梱包機材（真空パック機、ラベル・製造日印字機） 2-4 マニュアル、教材 2-5 PC, インターネット機材 2-6 研修会、見学会等の訓練費用							
実施にかかる留意点							
1. 関連局・組織と連携し、総合的な支援を行えるように考慮する 2. 製品の多様化を図るため、地元で入手可能な材料を素に、新たな製造方法を導入し普及させるよう努める 3. 持続的な資源管理には、住民の合意形成や主体性が重要となるため、参加型手法を取り入れ事業を進める 4. 各製品・事業ごとに方法が異なるため、専門家の判断の基、適切な支援を行う							

計画	地域活性化・収入源多様化		
プログラム	観光村・グリーンツーリズム導入プログラム		
アクションプラン	ライチャウ省グリーンツーリズム導入パイロット事業		
実施期間	3年（必要に応じて、省全域への普及を目的としたフェーズ2を実施）		
対象地域/裨益者	文化スポーツ観光局(DCST)職員、各郡で指定された観光村の住人		
実施機関	文化スポーツ観光局(DCST)	協力機関	DPI、DIT、DARD、協同組合連盟等

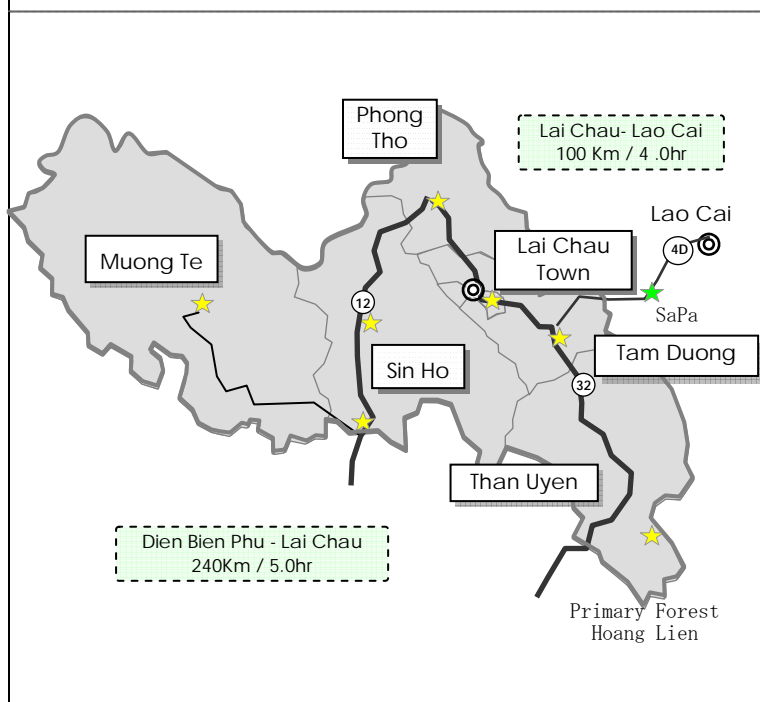
背景・目的

2007年8月、政府の機構改革により、PPC所轄のDepartment of Culture, Sports and Tourism (DCST、文化スポーツ観光局)が地方省の観光開発への責務を負う体制となった。本アクションプランでは、DCSTの観光開発に係る行政実施能力向上に力点を置きつつ、観光村開発パイロット事業を実施する。なお、2004年の全国観光マスタープラン策定調査の経験を有するDepartment of Industry and Trade (DIT、商工局)に蓄積されたノウハウをDCSTに円滑に移管できるよう配慮する。また、観光PRでは各地方省が独自に取り組むのではなく、北西部が一体となって地域ぐるみのプロモーションを展開する。

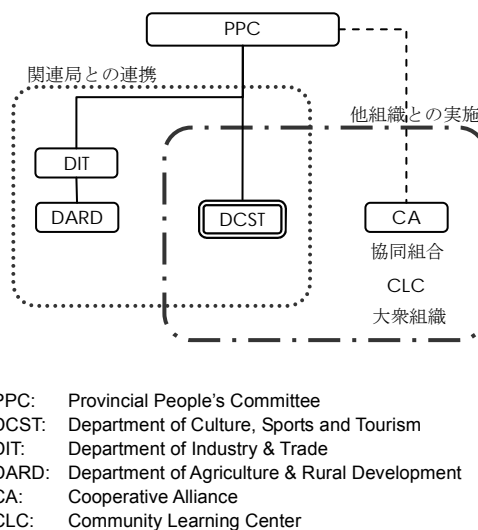
ライチャウ省は、ディエンビエン省 Dien Bien Phu とラオカイ省 Sa Pa という北部を代表する両観光地の中継点に位置し、すばらしい景観と多様性ある山岳少数民族の文化という人気ある観光資源に恵まれているにも拘らず、域内道路の整備が不十分であることから、同省を訪れる観光客は少ない。集客には、グリーンツーリズムを主体とした観光村の開発が効果的であるが、今後は、特に観光開発を考慮した道路網の拡充が望まれている。

プログラムでは、各郡で選定した観光村を対象として、グリーンツーリズム導入にかかる人材育成を行う。また、手工芸・副収入源多様化プログラムとも連携し、機織や焼き物の体験ができる観光村、少数民族の伝統的な図柄をモチーフにした高級感ある製品の開発を行う。同時に、郷土料理の店や土産物屋など、地元住民の観光業への参入機会を創設する。さらに、少数民族への理解を深め、伝統文化の保護に寄与する活動も盛り込む。Sa Paでは、行政が観光開発に係る法整備や企業・NGOの活動支援に注力しており、これらノウハウを取り入れることも必要である。なお、将来的な発展に向けては、国境山岳地域であることから、基礎インフラや医療施設、観光施設といった環境整備および治安維持に向けた各種の取組みが継続的に必要となる。

対象地域図：ライチャウ省



組織図



写真



少数民族の村落訪問等のトレッキングを主体としたライチャウ省のグリーンツーリズム

プロジェクトの要約		年次					
活動	アウトプット	1	2	3	4	5	6
プロジェクトの要約 上位目標 北西部の観光産業が活性化するとともに、農家の現金収入が多様化し増加する。 プロジェクト目標 プログラム対象地区の観光産業が活性化する。 プログラム対象地区の観光客が増加する。	成果 1. DCST の観光村開発にかかる行政能力が向上する。 2. 農村観光・グリーンツーリズムが実施される（パイロット事業）。 3. 観光客に対するマーケティングが実施される。 4. 北西部の観光プロモーションが実践される。 5. 観光インフラ開発にむけた PPP 事業が検討される。						
活動 【ライチャウ省行政職員の能力向上】 1. DCST 職員の能力向上 1-1 農村観光開発のガイドライン作成 1-2 省内の観光開発にかかるデータ収集 1-3 住民参加型による農村観光の能力開発 1-4 他期間（商工局、交通局、DARD）との連携強化 【グリーンツーリズムにかかる人材育成】 2. 農村観光、グリーンツーリズム導入に向けた人材育成 2-1 農村観光の説明会・ワークショップによる意識調査 2-2 事業地区の選定と実施にかかる合意形成 2-3 語学（英語・越語）トレーニング 2-4 ゲストハウス・レストラン等の運営指導 2-5 民族料理・民族芸能等の事業を目指した組織形成、研修 2-6 グリーンツーリズムガイドの育成 【グリーンツーリズムの活性化】 3. 観光プロモーション 3-1 ハノイ・ディエンビエンへのインフォメーションセンターの設置 3-2 情報宣伝・パンフレット・観光マップの作成 3-3 セルブプロモーションを目的とした品評会・試食会 3-4 民族文化をテーマにしたイベントの開催 3-5 案内・説明ボードの設置 4. 観光振興にむけたインフラ整備 4-1 観光循環バス等の運行検討 4-2 バイクのツーリングコース・給油所の設置 4-3 通信環境向上に向けた整備（電波塔、インターネット）	アウトプット - 地方省向けガイドライン - 基礎調査報告書 - 研修記録 - 意見交換会・議事録 - 調査報告書 - ワークショップ記録 - 語学教室 - マニュアル、教材 - マニュアル、教材 - 講習会、マニュアル - インフォメーションセンター - パンフレット - キャンペーン - イベント - 観光案内の表示板 - 循環バス - バイク・ガソリンスタンド - 電波塔、PC						
投入							
1. 専門家 1-1 観光開発専門家 1-2 社会開発専門家 1-3 社会経済専門家 1-4 手工芸・食品加工専門家 1-5 流通・マーケティング専門家	2. パイロット事業関連資機材 2-1 インフラ整備（道路、施設）機材 2-2 ワークショップ、研修会等の費用 2-3 教材、耕種栽培ガイドライン等 2-4 PC, AV 研修機材						
実施にかかる留意点							
1. 農村型観光開発の実施に当たっては、住民の意識や意欲に関するモニタリング、啓発を組み入れる必要があるほか、住民の合意形成や主体性が重要となるため、参加型手法の促進を図る 2. 特産品・名産品の開発が、農村型観光開発の成功の鍵となる（乳製品（ソフトクリーム・ヨーグルト）、肉・魚加工品（ハム・ソーセージ、燻製）、酒類（ビール・ワイン）） 3. 地域資源の中で、自然環境や少数民族固有の文化等を利用した農村一体型の観光開発を行う。特に、第一次産業とのリンクを強化する 4. 関連局・組織と連携し、総合的な支援を行えるように考慮する							